

大幅賃上げで 25春闘勝利へ



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

昨年度の全産業の賃上げ率は、1991年以来33年ぶりに5%を上回る結果となりました。

しかし、日本郵政グループ各社の賃金改善は定期昇給を含めて4%であり、物価上昇分を補う賃金改善になっていません。



日本郵便の正社員の平均賃金(23年度)は31万7000円
で、他の大企業の33万4000

円に比べ、低い水準にとどまっています。その原因として、7年連続「ベアゼロ」と合わせ、すべての社員に行きわたる賃金引上げを実施してこなかったことが挙げられます。25春闘では、すべての社員の大幅賃金引上げを何としても勝ち取らなければなりません。



日本郵政グループは昨年の春闘要求回答の中で、各種人事制度を見直すことを表明しました。

その中には、①昇給②退職手当③扶養手当④調整手当の諸制度など大きな労働条件の変更

を伴う内容が盛り込まれています。定期昇給や昇給制度、扶養手当、退職手当制度など、労働条件が大きく後退することも懸念されます。



郵政ユニオンは2月7日に中央委員会を開催し、25春闘の方針を確立します。

25春闘では、労働条件の低下を絶対に許さず、物価高騰を上回る大幅賃上げと非正規社員の均等待遇実現および正社員化、正社員の待遇引き下げを許さないたたかいを、他産業や地域の仲間と連帯しながら支部も全力で取り組みます。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!